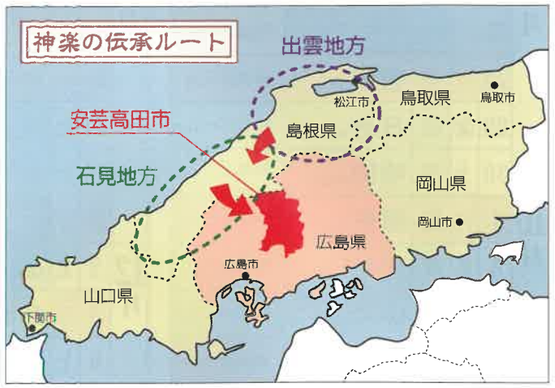
広島県安芸高田市の神楽

全国各地に、さまざまな形の神楽が伝えられているなかで、安芸高田市の神楽は、出雲流神楽が石見神楽を経て、江戸期にこの地域に伝えられたと考えられます。また、その過程で、九州の八幡系の神楽や高千穂神楽・備中神楽、さらに中国山地一帯に古くから伝わる農民信仰などの影響を受けて、現在の形態になったといわれています。
その特徴は、演劇性が高いという点で、極めて大衆的でのびのびした伝統芸能に発展しました。現在では市内に22の神楽団が神楽を舞い、舞人たちはその技を磨いています。
ほぼ年間を通じて、神楽にいそしむ団員たち。そのせいか「神楽で食べているの？」とよく聞かれますが、団員にとって神楽はあくまでも「祭事」。職業ではありません。日常は各々、仕事や勉学に励み、神楽の継承と保存に大きな役割を担っています。
この大衆化が、人々の神社・神に対する信仰心を繋ぎ止め、自然や神への畏敬・恩恵に対する先人の心を今に止める大きな役割を果たしているといえます。安芸高田市の神楽には、劇化の進展のなかにも、神人和楽という神楽の原形が息づいているのです。



百万一心で伝える ひろしま 安芸高田神楽

神楽の守り人 安芸高田22神楽団

安芸高田神楽協議会 事務局
安芸高田市役所 商工観光課 ☎0826-47-4024

広島県の北部に位置する安芸高田市は、戦国の武将 毛利元就の故郷です。この地では、古くから伝統芸能としての神楽が盛んに伝承され、「ひろしま安芸高田神楽」という他にない独自な神楽のブランドに成長いたしました。きわめて演劇性が高くスピード感にあふれ、一年を通して毎年15万人以上の人々が鑑賞に来られるまでになりました。
私達は今、毛利元就の遺訓「百万一心」の心意気で、我が故郷の誇りである「ひろしま安芸高田神楽」を大切なおもてなしのコンテンツとして地域を挙げて取り組んでおります。“自然よし、人情よし、神楽よし”の安芸高田市。是非一度「ひろしま安芸高田神楽」をご覧ください。

- 吉田神楽団
- 高猿神楽団
- 八千代神楽団
- 横田神楽団
- 中北神楽団
- 上河内神楽団
- 黒瀧神楽団
- 桑田天使神楽団
- 天神神楽団
- 青神楽団
- 錦城神楽団
- 美穂神楽団
- 塩瀬神楽団
- 神幸神楽団
- 広森神楽団
- 日吉神楽団
- 原田神楽団
- 佐々部神楽団
- 梶矢神楽団
- 羽佐竹神楽団
- 山根神楽団
- 来女木神楽団

無料 送迎バス 昼公演のある日曜・祝日 運行　中国自動車道「美土里」バス停⇔神楽門前湯治村

ゆき	高速「美土里」バス停 発	① 10:30	② 11:30	③ 14:00	→	神楽門前湯治村 着
かえり	神楽門前湯治村 発	① 13:40	② 15:30	③ 16:30	→	高速「美土里」バス停 着

- 当日の道路状況及び、高速バスの運行状況により時間が若干変更する場合がございます。
- 昼神楽公演日以外の「神楽大会」及び「夜神楽」開催日には定期便の運行はございません。
- 昼神楽公演日以外でのご利用を希望される方は、神楽門前湯治村（0826-54-0888）までご連絡下さい。

交通案内
■ マイカーにて
中国自動車道・高田IC～
～現地・美土里町 約 7分
■ バスでお越しの方
中国自動車道 高速バス
「美土里バス停」下車
「美土里バス停」から
無料送迎あり【要予約】
詳しくはお問い合わせください。
グループ・団体 送迎応談
P 無料駐車場300台完備

神楽と温泉でまちおこし、ひとおこし

天然ラドン温泉
神楽門前湯治村
かぐらもんぜんとうじむら

ご予約・お問い合せは TEL 0826-54-0888（代）
〒731-0612 広島県安芸高田市美土里町本郷14627
FAX 0826-54-0288
湯治村　とうじむら　検索

ひろしま安芸高田神楽 神楽上演日程表 2023 保存版

ひろしま 安芸高田 神楽ドーム

神楽へ行こう。 KAGURA DOME

年間150日以上開催！
週末にはいつでも神楽が観られる！

地域の伝統芸能「神楽」を応援しています
安芸高田市
安芸高田神楽協議会
神楽門前湯治村

500 毛利元就 郡山城入城500年

撮影：2022ひろしま安芸高田神楽フォトコンテスト
最優秀賞　小草俊二　広森神楽団「土蜘蛛」